

国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト  
「Fry to Fly Project」に参加いたしました

コスモ石油株式会社（代表取締役社長：鈴木 康公、以下「コスモ石油」）は、国内資源循環による脱炭素社会実現に向けたプロジェクト「Fry to Fly Project」に参加いたしました。

## Fry to Fly Project



「Fry to Fly Project」のシンボル

Fry to Fly Project は、個人や自治体、企業が SAF（持続可能な航空燃料）の原料となる、家庭や飲食店など身近なところで発生する廃食用油の提供を通じて、日本国内における資源循環の促進に直接参加することのできる場を提供するものです。

Fry to Fly Project では、設立主旨に賛同した 29 の参加企業・自治体・団体が相互に連携しつつ、家庭や店舗等から排出される廃食用油の収集を促進し、さらに自治体との連携により廃食用油の SAF への活用に関する教育活動を実施するなど、日本国内において脱炭素化に向けた資源循環の促進に積極的に参加できる機会の創出を目指しています。

なお、具体的な取り組みについては、今後参加企業・団体・自治体の皆様のアイデアをもとに決定し、活動していく予定です。

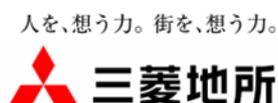
< Fry to Fly Project の特設ホームページ >

<https://www.jgc.com/jp/esg-hsse/initiative/fry-to-fly/>

< SAF について >

SAF とは、Sustainable Aviation Fuel の頭文字をとったもので、日本語では持続可能な航空燃料と訳されます。原料となるバイオマスや廃食用油、都市ごみなどの生産・収集から、製造、燃焼までのライフサイクルで、従来の航空燃料に比べて温室効果ガスの排出量の大幅な削減が期待できるとともに、既存のインフラをそのまま活用できる航空燃料です。

Fry to Fly Project 参加メンバー（入会日順。2023年4月17日時点）



（ご参考）参加メンバー  
株式会社レボインターナショナル、大和リゾート株式会社、一般社団法人 南房総市観光協会、  
関西エアポート株式会社、さかい SDGs 推進プラットフォーム、アサヒユウアス株式会社、  
株式会社ジーエスエフ、日清医療食品株式会社、日揮ホールディングス株式会社、

合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY、日本郵政株式会社、株式会社のらや、横浜市役所、  
日本航空株式会社、一般社団法人 横浜みなとみらい 21、  
ホテル日航つくば（株式会社筑波学園ホテル）、日清食品ホールディングス株式会社、  
株式会社横浜銀行、株式会社トリドールホールディングス、日本通運株式会社、  
三菱地所株式会社、株式会社ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ、コスモ石油株式会社、  
ボーイングジャパン株式会社、堺市、全日本空輸株式会社、株式会社三井住友銀行、  
株式会社コロワイド、株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES

以上